



全国コーディネーター活動ネットワーク (九州沖縄地域 平成23年度 第3回会議)

地域の産学官連携活動事例報告

2012.1.11

沖縄科学技術大学院大学(OIST)
産学官連携コーディネータ
城間 保



おきなわのすがた (全国から見た沖縄県)から読み解く(私見)

項目	順位	数値	単位
人口千人あたり出生数	1位	20.67	人
2次産業構成比	47位	24.0	%
うち製造業	47位	19.52	%
完全失業率	47位	24.9	%

- ・人口千人あたり出生数: 1位
- ・2次産業構成比: 47位
- (うち製造業): 47位
- ・完全失業率: 47位

日本の人口減少が言われる中、労働人口としての潜在能力を持ち合わせている。

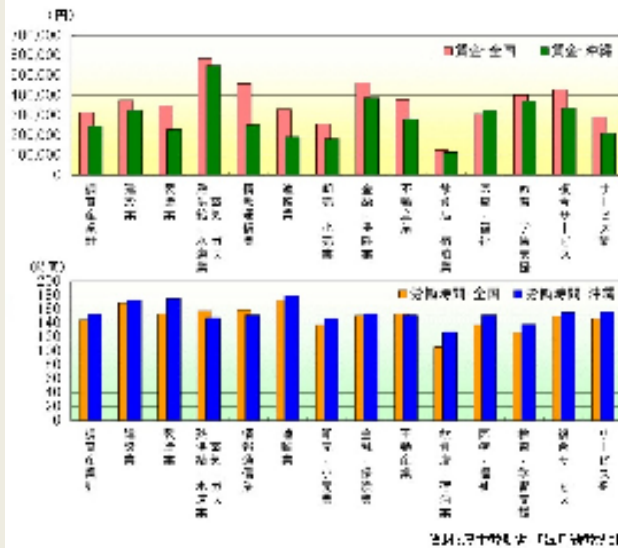
戦争による破壊と他府県のマーケットから遠いという島しょ県のため、二次産業が振わない。

小さい土地の割に、人口密度が高く、キャパが決まっているので、失業率が高い。

たくさん働く？割には、実入りが少ない

賃金・労働時間

図18 労働時間別の賃金 労働時間比較（規模5人以上・平成21年平均）



物価？

効率？

増え続ける人口

失業率の高さ

構成比の低い二次産業の対策

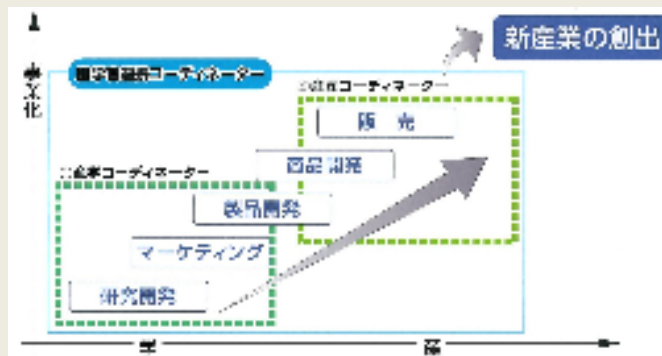
自立型経済(魚より、魚の釣り方や道具)

どう解決？

解決法の一つ(沖縄県新産業振興課) 新産業創出人材育成事業

事業目的:

県内資源(人・モノ・金・情報・知財など)を適切に組み合わせ、新産業の創出や既存産業の高度化に向けた支援を行えることができる、産学官連携コーディネーター人材の育成を図る。



①産学コーディネーター(5名)

県内外の研究機関の動向や各機関のシーズ情報、県内企業のニーズに精通し、技術移転に関する仲介・調整など、産学官連携を主導することができる人材。

②産産コーディネーター(1名)

商品開発から販売活動までの過程において、県内外の企業間の連携を行い、既存の販路を拡大するだけでなく、新たな価値の創造をサポートできる人材。

産学官連携コーディネーター育成事業(2010年公募)



- ・沖縄県内の40歳までの大卒(大学院卒)の者を対象
- ・県外研修(1年2か月)、県内OJT(1年4か月)
- ・一個人(社長さん?)として研修
- ・研修終了後は、各自で仕事を探す(相談にはのる)



- ・6名が採択され、各研修場へ
- 1. 奈良先端科学技術大学院大学
- 2. 三重大学
- 3. 農工大ティール・エル・オー株式会社
- 4. 株式会社ヒューマン・キャピタル・マネジメント
- 5. 関西ティール・エル・オー株式会社
- 6. (独)科学技術振興機構(JST)

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)と沖縄の現状

国立大学中トップ:

教員一人当たりの「特許ライセンス収入」、「大学発ベンチャー数」、「研究経費」
(平成21年度 内閣府調査)

採択:

文部科学省 大学等産学官連携 自立化促進プログラム
(全国17機関中の1機関)

受賞:

産業財産権制度の普及・啓発活動 <経済産業大臣表彰(普及貢献企業)>
(平成23年度)



沖縄特有の天然素材やアジアに近い地理的優位性から企業や研究機関の集積が進んだが....

産業界の求めるニーズと研究機関のシーズのマッチングがいまいち

NAISTで学んだこと

1. 生物多様性条約に関する案件
2. MTA・共同研究契約に関する案件
3. 特許拒絶理由通知対応
4. その他



県外研修で学んだこと・感じたこと

産学連携コーディネーターで活動している方は、企業出身者でかつ定年退職をなされた方が多い。

外部資金で運営されている方がほとんどであり、持続・自立性に不安残る。

産学官連携活動が盛んに行われている中心地へ飛び込んでいくことによって、地方都市ではなかなか経験できないことや、空気感を感じることができた。

地方都市の産学官連携活動はどこも似たような状況にあるが、そこで活動する方々の地道な努力・熟考を重ねた提案の実行・継続の積み重ねが大きな差になっている。

NAIST研究者の活躍により、評価が全国一となるのだが、それを支えているNAIST産学連携推進本部のスタッフも各自の専門性を活かし、状況を的確に判断して仕事をこなしている様子が素晴らしい。

研修中の心がけ（相手を知る・相手に知ってもらう）

『自分磨き』

野地 秩嘉
のじつねよし

修行といっても「たくさんの人と会う」ことから始めればいいと思う。苦手な人を避けたり、新しい出会いを面倒くさがらずに。どんな仕事でも、根本的に問われるのは、結局のところ『生身の自分自身』。多くの人と会い、『相手の心』をつかもうと真剣に努力する姿そのものが、実は最大のセールスポイントになっている。怒られることも、クレームも、相手の心を知るチャンス。

神戸大学 連携創造本部主催 コーディネーター養成研修（連携塾）資料より

沖縄21世紀ビジョン

県民が望む将来の姿(2030年ごろまで)

1. 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島
2. 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
3. 希望と活力にあふれる豊かな島
4. 世界に開かれた交流と共生の島
5. 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

3. を進めるための戦略の一つ

沖縄をけん引する新しい産業の育成

沖縄新・リーディング産業育成:

- ・沖縄科学技術大学院大学等を中心とした「知的クラスター」の形成（ライフサイエンス、医療・健康分野の技術革新や新産業の創出）
- ・海洋資源の開発、利用を促進し、海洋産業を振興

4. を進めるための戦略の一つ

科学の振興と世界への協力・貢献

科学の振興と知の集積による国際貢献拠点形成:

- ・様々な科学分野の研究・集積、技術の振興を図る
- ・世界から頭脳人材を誘致し、世界的課題解決のため知的交流機会を創出し、「グローバル頭脳ハブ」を形成

沖縄県内OJT

2011年11月より、沖縄科学技術大学院大学(OIST)(3名)、沖縄県物産公社(1名)で、県外で研修してきたことを、沖縄で産学官連携事業を実践的に関わり、「プロデュース力」、「実現力」をつける。

・OISTでの活動内容(当面の半年)

- ・研究者に対するリサーチサポート(研究契約事項等の事務的手続き)
- ・知的クラスター事業の推進、企画
- ・技術移転に関する活動

・沖縄県物産公社での活動内容(当面の半年)

- ・本県における物流および流通の一形態に関する業務および研修
(「わしたITロジスティックシステム」に関すること → 在庫管理・発注等)
- ・企業支援に関する業務および研修(今後の予定)
「沖縄国際空港物流ハブ活用推進事業」に関すること
展示会、商談会等の企画への参画
技術導入・衛生管理指導の方法(研修)

産学コーディネーター・産産コーディネーターの資質とは 事業化への道

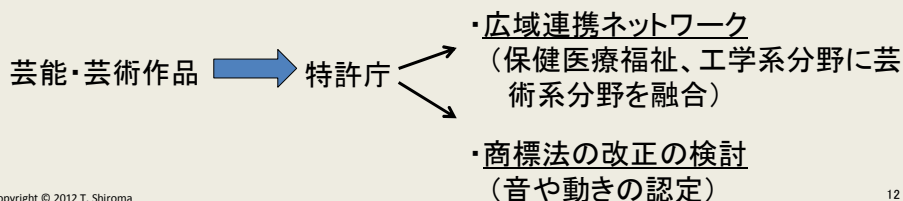
理想:

- ・実益につながる研究成果
- ・沖縄21世紀ビジョンと同じベクトルの研究内容
- ・日本の動き、世界の動き、トレンドの先を読む力

情報収集・情報発信・ネットワークづくり等の地道な活動を継続

ヒントは外から見えるかも

あるベンチャーキャピタリストのつぶやき... (沖縄のすばらしいもの)



問題解決のためのネットワークづくり

日本から、ゆくゆくはアジア・他地域へ

13

ご清聴感謝いたします

Copyright © 2012 T. Shiroma